

研究実施のお知らせ

東京科学大学(前：東京医科歯科大学)放射線診断科では Photon-Counting CT による穿通枝評価の有用性に関して、下記臨床研究を行っています。この研究では、2024 年 10 月 01 日以降に当院で Photon-Counting CT 検査を受けた患者さんの診療情報を使用させていただきます。ご自身の診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合は解析対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究課題名	Photon-Counting CT による穿通枝などの微小血管描出の有用性に関する研究
研究責任者	画像診断・核医学分野 立石宇貴秀
研究期間	当院倫理審査委員会承認日 ～ 2029 年 09 月 30 日
研究の対象	以下に該当する方を研究対象とします。
	以下の期間において、当院で Photon-Counting CT(当院 A/B 棟 1 階、画像診断センターで CT を受けられた方)を受けられた方。 ただし未成年者を除きます。
	対象受診期間：2024 年 10 月 01 日 ～ 2029 年 09 月 30 日 オプトアウト対象：2024 年 10 月末まで
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☒ その他（画像検査情報）
研究目的・意義	がんの術前や、がん切除後の切除部再建に使う皮弁に適した部位の検出のために従来から CT(Computing Tomography)検査が行われています。これらの微小な血管を穿通枝と呼びますが、この血管は径が数 mm 程度であり、非常に細かな構造の評価が必要になります。しかしながら従来の CT ではノイズに弱く、画質に限界があり、細かな構造の検出が困難でした。 ここにち Photon-Counting detector という新たな技術が臨床応用され、これを用いた Photon-Counting CT(PCCT)が実用化されています。PCCT は従来の画像より画質が良く、より細かな構造の評価を行うことが可能です。 本研究では PCCT によりこれらの研究により、より精度の高い穿通枝評価を行い、患者様の病態評価をより適切に行えることを確かめることを目指します。 本研究は保険適用された医療機器を用いた、通常の診療過程で得られる情報を用いた研究であり、研究対象者の皆様に直接的な利益は生じません。しかし、研究成果により将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。また本研究は保険適用された医療機器を用いた、通常の診療過程で得られる情報を用いた研究であり研究対象者の皆様に対して介入を伴うことがないため、直接的な不利益も生じません。

研究の方法	この研究は保険適用された医療機器を用いた、通常の診療過程で得られる情報を用いた研究であり、研究のために研究対象者の皆様に研究のために新たに何かしていただくことはありません。 撮像した画像による穿通枝の評価、血管破格(病気ではない血管形成の異常)の有無を検討します。
個人情報の取扱い	研究で使用したデータ類は当院読影室ないし医局内に保管し、外部への持ち出しは行いません。論文等の発表後 10 年間経過したのち、適切に破棄いたします。 解析は直ちに個人を識別できないようにしたうえで実施し、研究対象者さんやそのご家族に危険や不利益が及ぶ可能性はありません。研究対象者さんから得られたデータを解析した結果を学会発表、論文出版等にて公表する予定ですが、いずれにおいても個人が特定されることはなく、プライバシーは保護されます。 本研究は既に存在するデータを用いる観察研究です。直ちに個人を識別できないようにした上でデータを収集し、解析をおこなうため、新たに同意の取得は行いません。本研究に関しては病院ホームページに掲示することで周知を行います。本研究への質問や参加拒否をされる方は下記に連絡下さい。参加を拒否された場合でも、不利益を被ることは一切ありません。 研究対象者さんの健康状態等の評価に関する知見が得られた場合にはそれを通常の診療に則って提示します。また研究結果に関しては個別に開示いたしません。
本研究に関する 連絡先	研究責任者 画像診断・核医学分野 立石宇貴秀 東京科学大学(前：東京医科歯科大学)医学部 画像診断・核医学分野 医局 連絡先 03-5803-5311 対応可能時間帯 平日 9:00～17:00 苦情窓口 東京科学大学研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ 連絡先 03-5803-4547 対応可能時間帯 平日 9:00～17:00